

標 題 : The role of Mediterranean diet in the epidemiology of metabolic syndrome:
converting epidemiology to clinical practice Review
メタボリックシンドロームの疫学における地中海食事の役割 :
疫学を臨床業務に変換する [総 説]

著 者 : D. B. Panagiotakos and E. Polychronopoulos (ギリシャ ハロコピア大学
栄養学部)

掲 載 誌 : Lipids in Health and Disease 4: 7 (2005)

要 旨 :

メタボリックシンドロームは、脂質異常症、高血圧、グルコース耐性異常および腹部の周りに脂肪を形成するなどの症状の集合である。

メタボリックシンドロームの人々は、アテローム性動脈硬化のリスクが高く、特に冠状動脈性心疾患のリスクが高いと、現在良く知られている。

しかし、メタボリックシンドロームの人々は、食事および運動による積極的な生活様式の変更から恩恵を受けると、示唆される。

この総説で、メタボリックシンドロームの進行に対する地中海食事の影響に関する科学的な証拠を、我々は要約する。
